

1年

数学科 令和7年度 指導・評価計画

月	単元・教材名	学習目標	学習活動	評価規準	観点	評価方法
4	0 章 算数から数学へ 3 時間	・自然数を素因数分解できる	素数の意味と素因数分解	自然数を素因数分解することができる	I Ⅲ	●観点Ⅰ 【知識・技能】 ・定期考査 ・単元別領域テスト ・小テスト ・ノート、問題集での計算方法 ●観点Ⅱ 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・ノート、問題集における記述 ・単元別領域テスト ・小テスト等 ●観点Ⅲ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業での発言内容 ・ノートの記述内容 ・問題集の記述内容 ・宿題の記述内容 ・単元別領域テスト ・授業の自己評価 ・授業の振り返り ・振り返りテスト
	1 章 正負の数 2 6 時間	・符号のついた数を理解する ・数の大小を理解する ・正負の数の加法、減法ができる ・加法と減法の混じった計算ができる ・正負の数の乗法、除法ができる ・乗法と除法の混じった計算ができる ・四則計算ができる	符号や正の数、負の数の意味を知る 不等号の意味を知る 正負の数の加法、減法の意味と計算方法 加法や減法の混じった式を計算をする 正負の数の乗法、除法の意味と計算方法 交換法則や結合法則を利用して計算をする 四則の混じった式の計算をする	正の数や負の数に関する用語を理解している 正の数や負の数を数直線で表したり、不等号を使って表現できる 正負の数の加法、減法の意味を理解し、計算ができる 加法、減法を統一的に見ることができ、代数和の考えで計算ができる 乗法や除法を統一的に見ることができる 交換法則や結合法則、分配法則が成立することを理解している 正負の数の四則計算ができる	I Ⅲ II Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ II Ⅲ II Ⅲ II Ⅲ II Ⅲ	
5	2 章 文字と式 2 0 時間	・文字を使うことができる ・文字を使った式で表すことができる ・代入と式の値を求めることができる ・一次式の計算ができる ・文字を使った公式を作ることができる ・数量の間の関係を等式や不等式で表すことができる	文字の導入とそれを使うことの良さを知る 文字使用のきまりにしたがって、色々な数量を表現する 代入と式の値を理解し、具体的な場面で値を求める 一次式の意味を理解し、一次式のいろいろな計算をする 図形についての公式を文字を使って表す 等式、不等式を用いて数量の間の関係を表す	文字を用いることで数量を統一的に表現できる事を理解している 文字を使っていろいろな数量を表そうとしたり、数理的に考察することができる 代入や式の値の意味を理解し、値を求めることができる 一次式の意味と計算方法を理解している 文字式の計算の意味を具体的な場面と結びつけて理解し、それを利用する 等式と不等式の意味を理解し、数量の間の関係を等式や不等式で表すことができる	I Ⅲ I Ⅲ II Ⅲ I Ⅲ II Ⅲ II Ⅲ	
6	3 章 方程式 1 8 時間	・方程式の意味がわかる ・一次方程式を解くことができる ・一次方程式を利用して、問題を解決することができる ・比例式の意味を理解し、文字の値を求めることができる	方程式とその解の意味を知る 一次方程式を解く 移項の意味を知る いろいろな方程式を解く 方程式を利用して解く いろいろな問題を一次方程式を用いて解く 比例式の性質を使って、文字の値を求める	方程式のなかの文字に値を代入して、解であるかどうか確かめることができる 方程式、方程式の解、移項、一次方程式の意味を理解している 方程式を等式の性質や移項を使って解くことができる いろいろな方程式を効率的に、正確に解くことができる 文章問題を方程式を用いて解くことができる 問題解決の場面で数量の関係を比例式で表し、問題の答えを求めることができる 比例式の性質を利用して、文字の値を求めることができる	I Ⅲ II Ⅲ II Ⅲ I Ⅲ I Ⅱ III I Ⅲ II Ⅲ	
7	4 章 比例と反比例 2 2 時間	・変数、比例、関数、変域の意味を知る ・比例する量を見つける ・座標について知る ・比例のグラフを書く ・反比例の意味を理解する ・反比例のグラフを書く	ともなって変わる量の変化の仕方調べ 事象の中から比例する量を見つける 座標に関する用語を知る $y = ax$ のグラフを書く $y = ax$ の値の変化を調べ、特徴を知る 反比例の意味を理解する 反比例のグラフを書く 反比例のグラフの特徴を知る	2 つの量の関係に対応と変化で捉えようとする 事象の中から比例する量を見つけ、それを式で表せる 座標の意味を理解している 表、式からグラフがかけ 値の変化のようすからグラフの特徴や変化の状態を考える 反比例の意味がわかる 表、式からグラフがかけ 双曲線という曲線になることを知る	I Ⅲ II Ⅲ I Ⅲ II Ⅲ II Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ II Ⅲ	
8	5 章 平面図形 1 8 時間	・図形の移動について理解する ・基本の作図ができる ・おうぎ形について理解する	平行移動、回転移動、対称移動の意味を知る それぞれの移動における性質 定規、コンパスの使い方と作図 おうぎ形の弧の長さや面積を求める	3 つの移動を互いに関連づけて理解する 3 つの移動について、それらの性質を見いだしたり、調べたりすることができる 3 つの移動について、移動させた図形を書くことができる 定規、コンパスに使い方を知り、作図の意味と方法を理解して、図を書いたり、性質を考えたりする おうぎ形の弧の長さや面積の求め方を理解している	I Ⅲ II Ⅲ II Ⅲ II Ⅲ II Ⅲ	
9	6 章 空間図形 2 2 時間	・いろいろな立体を分類することができる ・立体をいろいろな見方ができる ・立体の投影図について理解する ・立体の表面積と体積を求めることができる	多面体の意味を知る 正多面体の意味とその種類 角柱、角錐、円柱、円錐の共通点と相違点を考える 直線や平面の位置関係を考え、立体の展開図をかく 投影図の意味を知る 表面積、側面積、底面積の意味を知る 角柱、角錐、円柱、円錐の体積を求める 球の表面積と体積を求める	多面体の意味を理解し、それらを調べる 正多面体の意味を理解し、頂点や辺の性質からその種類を考え、5 種類しかないことを知る それぞれの立体の意味を理解し、その特徴を調べることができる 直線や平面の位置関係を理解し、立体の展開図をかくことができる 投影図の意味を理解し、これを用いて空間図形の性質を見だし、考えることができる 表面積、側面積、底面積の意味を理解し、その求め方を知り、求めることができる 立体の体積の求め方を知り、それを求めることができる 球の表面積や体積の求め方を、その球がちょうど入る円柱の表面積、体積をもとにして導くことができる	I Ⅲ II Ⅲ II Ⅲ II Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ	
10	7 章 資料の分析と活用 1 1 時間	・資料の散らばりと代表値を求めることができる ・累積度数を求めることができる ・不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取ることができる	度数分布を求める 範囲と代表値を求める 累積度数を求める 起こりやすさの表し方を理解する	度数分布表やヒストグラムなどを理解し、それを表したすることができる 資料の範囲や代表値を求め、資料の傾向を読み取ることができる 累積度数、累積相対度数の意味を理解し、求めることができる 不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、説明することができる	I II I I	